

## 第8回 第11章（工事別原価の計算1）

今日の目標は、練習問題 11-4 です  
過去問題にも頻出の内容になります。しっかりと学習しましょう。

(1)原価計算基準「原価の製品別計算」→仕掛品と完成品  
→建設業では、未成工事支出金と完成工事原価の集計をあらわすと考える

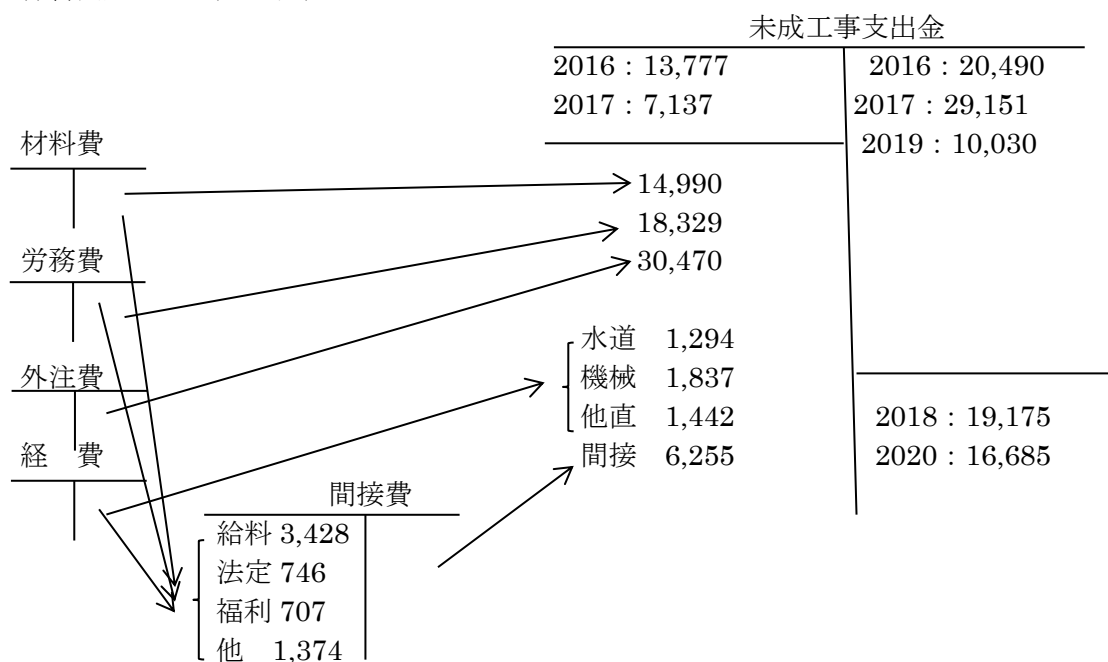
(2)製品別計算→個別原価計算と総合原価計算  
→建設業は個別原価計算  
・工事番号による管理  
・早期の原価確定のために共通費の予定配賦と差異分析が重要になる

(3)工事台帳と原価計算表  
レッツ原価管理（パッケージソフト）で確認しよう

(4)練習問題 11-4 を実施しよう  
<設例 11-1 は練習問題 11-5 と同様なので練習問題の解説終了後に各自で確認して下さい>

11-4 は過去問でもあまり問われていない形式  
最近は突然タイプの違う問題が出るケースもあるので、ここでしっかりと押さえておこう  
(次ページに勘定連絡図などを作成しておきます)

練習問題 11.4 (整理図)



	2016 (完)	2017 (完)	2018 (未)	2019 (完)	2020 (未)	合計
前月繰越	材 3,262 労 3,907 外 4,660 経 1,948 計 13,777	材 2,146 労 1,057 外 3,055 経 879 計 7,137				
材料費	(4,091) 829	(5,843) 3,697	3,965	1,947	4,552	14,990
労務費	(5,122) 1,215	(6,984) 5,927	4,648	2,119	4,420	18,329
外注費	(8,187) 3,527	(12,246) 9,191	7,973	4,402	5,377	30,470
経費	(3,090) 1,142	(4,078) 3,199	2,589	1,562	2,336	<b>10,828</b>
合計	20,490	29,151	19,175	10,030	16,685	

★ ( ) は前月繰越と当月投入の累計額

★2016,2017 は工事別原価計算表(これは常に累計が集計されている) から前月分を差引いた数値を当月投入額として計算する

★当月経費 10,828 (未成工事の借方) の内訳は問題の指示により以下の通り

- ・動力用水光費 1,294、その他直接経費 1,442 (未成工事支出金勘定より)
- ・工事間接費は③の指示により合計 6,255 (③の指示はここで使うだけ)
- ・よって機械等経費は  $10,828 - 1,294 - 1,442 - 6,255 = 1,837$

★完成工事原価報告書は上記の 2016、2017、2019 の内容を集計すればよい

④の指示は完成工事原価報告書に記載するための指示 (他では使わない)